

《 私立高校出願に向けて動き出します 》

25日(木)、26日(金)に期末テストが終わりました。いよいよ2学期の成績(評定)が決定します。

今後は18日までに提出してもらった受験校確認票と推薦希望書をもとに私立高校の入試相談に向けて準備をしていきます。私立高校では「1、2学期の成績のよい方」または「2学期の成績」で入試相談を実施する高校が多く、場合によっては現在受験を予定している高校を変更しなければならなくなるかもしれません。また、推薦制度を利用して受験できるかどうか、2学期の成績が関係してきます。



今後は、面談が必要な人を対象に三者面談を実施します。12月6日(月)と7日(火)の2日間、2学期末の三者面談とは別に期間を設けます。基本的には面談が必要と担任が判断した場合に行うこととなりますが、もし、三者面談を希望するご家庭がありましたら、担任に申し出てください。詳しい日時が決まり次第、生徒を通して学級担任から連絡をいたします。

なお、2学期末の三者面談については、予定どおり全員対象で行います。その際、公立高校の受験校の確認等も行いますので、ご家庭でよく検討してからご参加ください。

さて、2学期も残すところわずかですが、ここから入試本番に向けた準備が本格的に始まります。面接対策はすでに始まっており、各学級で一生懸命練習しているところです。また、30日(火)までに私立高校推薦希望者を対象とした校長面接も終わりました。今後は学活や総合的な学習の時間を活用して願書(ネット出願の場合は「インターネット出願確認用紙」)を書く練習も進めていくことになります。基本的な準備は学校で行いますが、実際はそれをもとに自分で作業(手続き)等を進めていくことになります。これまでは学級担任が点検・修正を加えることができたが、今後は出願等に関わるPC入力や受験料の払い込み、一次(納入)金の手続きなど高校と直接やりとりする場面が出てきます。つまり、中学校の先生方が助けることができない、「自己責任」の場面が増えるということです。自分の進路です。まずは生徒が自分で責任をもって行うことが大切ですが、保護者の皆様にも点検などにご協力いただき、確実に手続きが行われますようお願いいたします。

《 これからの大事な行事を上手に乗り越えるコツ 》

- 1 やらなければいけないことは、すぐにやりましょう。
(後でやるは・・・忘れの原因)
- 2 学級担任の話はしっかり聞きましょう。
(必ずメモをとる)
- 3 学級担任や高校からの指示を、必ず守りましょう。
(自分だけで判断をしない。必ず×切の前に質問をする)
- 4 各高校のHPや募集要項をよく見る。
- 5 提出前に何度も確認しましょう。
- 6 ×切を絶対に守りましょう。
(早めに動けば、間違えに気づいたときに対応できます)
- 7 わからないことは、そのままにしないようにしましょう。
(必ず担任に相談する)

